

4. 過年度調査結果のまとめ

後作物における残留農薬の検出

今年度の調査対象となっている農薬について、過年度の後作物における残留農薬の検出状況は表 4-1-1～表 4-11 に整理したとおりである。

表 4-1-1 アゾキシストロビン（平成 31 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土 壌 濃 度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
秋田県農業試験場	アミスター20 フロアブル (20.0%) 2000 倍 600L/10a 1 回	こまつな (なかまち)	施設 PBI=14 日 (溶媒)	上 1.08	上 0.16 下 0.22	上 0.10 (15 日後)	上 0.07 下 0.12 (29 日後)	(43 日後)	15
			露地 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.94	上 0.13 下 0.20	上 0.12 (15 日後)	上 0.06 下 0.11 (29 日後)	(43 日後)	
愛知県農業総合試験場	アミスター20 フロアブル (20.0%) 1000 倍 300L/10a 1 回	こまつな (夏楽天)	施設：灌水 PBI=28 日 (溶媒)	上 0.60	上 0.25	上 0.28 (19 日後)	上 0.18 (36 日後)	<0.01 (64 日後)	15
			露地：乾燥 PBI=28 日 (溶媒)	上 0.48	上 0.22	上 0.18 (19 日後)	上 0.20 (36 日後)	<0.01 (64 日後)	
			施設：灌水 PBI=28 日 (水)	上 0.14	上 0.05	上 0.02 (19 日後)	上 0.02 (36 日後)	—	
			露地：乾燥 PBI=28 日 (水)	上 0.12	上 0.05	上 0.02 (19 日後)	上 0.02 (36 日後)	—	
大阪府立環境 農林水産総合 研究所	アミスター20 フロアブル (20.0%) 1000 倍 300L/10a 1 回	こまつな (わかみ)	施設 PBI=16 日 (溶媒)	上 1.05	上 0.23 下<0.01	上 0.30 下 0.06 (13 日後)	上 0.15 下<0.01 (42 日後)	<0.01 (58 日後)	15
			露地 PBI=16 日 (溶媒)	上 1.26	上 0.20 下 0.04	上 0.28 下 0.12 (13 日後)	上 0.19 下<0.01 (42 日後)	<0.01 (58 日後)	
			施設 PBI=16 日 (水)	—	上 0.05 下<0.01	上 0.06 下 0.01 (13 日後)	上 0.03 下<0.01 (42 日後)	—	
			露地 PBI=16 日 (水)	—	上 0.04 下<0.01	上 0.06 下 0.03 (13 日後)	上 0.04 下<0.01 (42 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

表 4-1-2 アゾキシストロビン（平成 30 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種 時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
秋田県農業試験場	ユニフォーム粒 剤 (2.0%) 9kg/10a 1 回	こまつな (なかまち)	施設 PBI=11 日 (溶媒)	上 2.46	上 1.90 下 1.90	上 0.93 (15 日後)	上 0.98 下 1.61 (34 日後)	<0.01 (34 日後)	15
			露地 PBI=11 日 (溶媒)	上 3.35	上 1.02 下 1.13	上 0.61 (15 日後)	上 0.55 下 0.35 (34 日後)	<0.01 (34 日後)	
宮城県農業・園芸総合研究所	アミスター20 フロアブル (20.0%) 1500 倍 600L/10a 1 回	こまつな (きよすみ)	施設：灌水 PBI=25 日 (溶媒)	上 0.62	上 0.53 下 0.02	上 0.45 (15 日後)	上 0.36 下 0.11 (28 日後)	<0.01 (28 日後)	15
			施設：乾燥 PBI=25 日 (溶媒)	上 0.56	上 0.49 下 0.02	上 0.22 (15 日後)	上 0.27 下 0.13 (28 日後)	<0.01 (28 日後)	
兵庫県立農林水産技術総合センター	アミスター20 フロアブル (20.0%) 1000 倍 300L/10a 1 回	こまつな (ひとみ)	施設 PBI=20 日 (溶媒)	上 0.58	上 0.16 下 0.01	上 0.16 (16 日後)	上 0.16 下 0.03 (33 日後)	<0.01 (33 日後)	15
			露地 PBI=20 日 (溶媒)	上 0.62	上 0.14 下 0.01	上 0.12 (16 日後)	上 0.10 下 0.03 (33 日後)	<0.01 (33 日後)	
			施設 PBI=20 日 (水)	上 0.18	上 0.03 下<0.01	上 0.02 (16 日後)	上 0.02 下<0.01 (33 日後)	—	
			露地 PBI=20 日 (水)	上 0.20	上 0.03 下<0.01	上 0.02 (16 日後)	上 0.02 下<0.01 (33 日後)	—	
山口県農林総合技術センター	アミスター20 フロアブル (20.0%) 1000 倍 300L/10a 1 回	こまつな (夏楽天)	施設：灌水 PBI=15 日 (溶媒)	上 1.34	上 0.64 下 0.44	上 0.74 下 0.36 (15 日後)	上 0.65 下 0.31 (29 日後)	<0.01 (29 日後)	15
			施設：乾燥 PBI=15 日 (溶媒)	上 1.16	上 0.58 下 0.30	上 0.72 下 0.30 (15 日後)	上 0.66 下 0.44 (29 日後)	<0.01 (29 日後)	
			施設：灌水 PBI=15 日 (水)	上 0.32	上 0.11 下 0.07	上 0.10 下 0.06 (15 日後)	上 0.05 下 0.10 (29 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15 日 (水)	上 0.24	上 0.10 下 0.07	上 0.10 下 0.04 (15 日後)	上 0.09 下 0.07 (29 日後)	—	

香川県農業試験場	アミスター20 フロアブル (20.0%) 2000 倍 600L/10a 1 回	こまつな (楽天)	施設：灌水 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.57	上 0.14 下 0.09	上 0.09 (14 日後)	上 0.10 (34 日後)	<0.01 (34 日後)	15
			施設：乾燥 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.82	上 0.13 下 0.10	上 0.08 (14 日後)	上 0.11 (34 日後)	<0.01 (34 日後)	
			施設：灌水 PBI=30 日 (水)	上 0.08	上<0.02 下<0.02	上<0.02 (14 日後)	上<0.02 (34 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=30 日 (水)	上 0.12	上 0.02 下 0.02	上<0.02 (14 日後)	上<0.02 (34 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

表 4-1-3 アゾキシストロビン（平成 29 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供 試 作 物 (品種)	試験区 PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種 時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
高知県農業技術 センター	アミスター20 フロアブル(20%) 2000 倍、300L/10a 3 回	こまつな (よかつた菜)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.22 下 0.24	上<0.15 (15 日後)	上<0.12 (28 日後)	<0.01 (28 日後)	15
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上 0.02 下 0.03	上 0.02 (15 日後)	上 0.01 (28 日後)		
			PHI=7 日 (溶媒)	上 0.30	上 0.24	上 0.16 (15 日後)	上 0.15 (28 日後)	<0.01 (28 日後)	
			PHI=7 日 (水)	上 0.02	—	—	—		

作付け時土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

—：測定未実施

表 4-2 イソプロチオラン（令和5年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)					後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	水稻栽培前	水稻栽培後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後日数)	収穫時 (播種後日数)		
栃木県 農業 試験場	フジワン 粒剤 (12.0%) 75 g/1 箱 (育苗箱) 湛 水散布 5 kg/10 a	ほうれんそう (ミラージュ)	露地 PBI=77 日 (溶媒)	上 <0.01	上 3.73 下 2.79	上 2.88 下 2.31	上 2.64 下 2.27 (8 日後)	上 2.03 下 1.77 (72 日後)	<0.01 (72 日後)	0.01
							上 2.53 下 2.36 (14 日後)			
							上 2.24 下 2.01 (44 日後)			

土壌濃度は、上：上層(0～10 cm)、下：下層(10～20 cm)を示す。

表 4-3-1 イミダクロプリド(令和5年度)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)					後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	水稻栽培前	水稻栽培後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後日数)	収穫時 (播種後日数)		
栃木県 農業 試験場	アドマイヤー CR 箱粒剤 (1.95%) 50 g/1 箱 (育苗箱)	ほうれんそう (ミラージュ)	露地 PBI=154 日 (溶媒)	上 <0.01	上 <0.01 下 <0.01	上 0.01 下 0.01	上 <0.01 下 <0.01 (8 日後)	上 <0.01 下 <0.01 (72 日後)	<0.01 (72 日後)	15
							上 <0.01 下 <0.01 (14 日後)			
							上 <0.01 下 <0.01 (44 日後)			
兵庫県 立農林 水産技 術総合 センター	アドマイヤー 1 粒剤 (1%) 3 kg/10 a	こまつな (なかまち)	露地 PBI=58 日 (溶媒)	上<0.01	上 0.03 下 0.01	上 0.01 下 0.01	上 0.01 下 0.01 (6 日後)	上 0.01 下 0.01 (39 日後)	<0.01 (39 日後)	5
							上 0.01 下 0.01 (12 日後)			
							上 0.01 下 0.01 (34 日後)			
徳島県 立農林 水産総 合技術 支援セ ンター	フルサポート 箱粒剤 (2.0%) 50 g/1 箱 (育苗箱)	ほうれんそう (プロGRESS)	露地 PBI=147 日 (溶媒)	上<0.01	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (7 日後)	上<0.01 (43 日後)	<0.01 (43 日後)	15
							上<0.01 (15 日後)			
							上<0.01 (35 日後)			

土壌濃度は、上：上層(0～10 cm)、下：下層(10～20 cm)を示す。

表 4-3-2 イミダクロプリド（平成 31 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
大阪府立環境 農林水産総合 研究所	アドマイヤー フロアブル (20%) 2000 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (わかみ)	施設 PBI=16 日 (溶媒)	上 0.48	上 0.10 下 0.03	上 0.09 下 0.02 (13 日後)	上 0.06 下<0.01 (42 日後)	0.02 (58 日後)	5
			露地 PBI=16 日 (溶媒)	上 0.55	上 0.14 下<0.01	上 0.18 下 0.08 (13 日後)	上 0.11 下<0.01 (42 日後)	0.02 (58 日後)	
			施設 PBI=16 日 (水)	—	上 0.06 下<0.01	上 0.10 下 0.03 (13 日後)	上 0.05 下<0.01 (42 日後)	—	
			露地 PBI=16 日 (水)	—	上 0.08 下 0.02	上 0.10 下 0.05 (13 日後)	上 0.07 下<0.01 (42 日後)	—	
高知県農業 技術センター	アドマイヤー フロアブル (20%) 1000 倍、 300 L/10 a の 2 倍量 1 回	こまつな (よかつた 菜)	施設：灌水 PBI=21 日 (溶媒)	上 0.61	上 0.20	上 0.14 (13 日後)	上 0.06 (37 日後)	0.06 (58 日後)	5
			施設：乾燥 PBI=21 日 (溶媒)	上 0.69	上 0.29	上 0.26 (13 日後)	上 0.20 (37 日後)	0.12 (58 日後)	
			施設：灌水 PBI=21 日 (水)	上 0.70	上 0.20 下 0.08	上 0.15 (13 日後)	上 0.07 (37 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=21 日 (水)	上 0.76	上 0.36 下 0.05	上 0.30 (13 日後)	上 0.23 (37 日後)	—	

—土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

表 4-3-3 イミダクロプリド（平成 30 年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
栃木県農業 試験場	アドマイヤー フロアブル (20%) 4000 倍、 300 L/10 a の 2 倍量 1 回	ほうれんそう (ミラージュ)	施設：灌水 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.24	上 0.08 下 0.09	上 0.07 下 0.08 (15 日後)	上 0.04 下 0.08 (49 日後)	<0.01 (49 日後)	15
			施設：乾燥 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.20	上 0.12 下 0.11	上 0.10 下 0.11 (15 日後)	上 0.06 下 0.05 (49 日後)	<0.01 (49 日後)	
愛知県農業 総合試験場	アドマイヤー 顆粒水和剤 5000 倍、 300 L/10 a の 2 倍量 1 回	こまつな (夏楽天)	施設 PBI=27 日 (溶媒)	上 0.40	上 0.26 下 0.16	上 0.24 (19 日後)	上 0.20 下 0.23 (33 日後)	0.02 (33 日後)	5
			露地 PBI=27 日 (溶媒)	上 0.41	上 0.22 下 0.07	上 0.20 (19 日後)	上 0.18 下 0.19 (33 日後)	0.01 (33 日後)	
			施設 PBI=27 日 (水)	上 0.31	上 0.15	上 0.08 (19 日後)	上 0.08 (33 日後)	—	

山口県農林 総合技術セン ター	アドマイヤー フロアブル (20%) 1000 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (夏楽天)	施設：灌水 PBI=15 日 (溶媒)	上 1.15	上 0.50 下 0.38	上 0.61 下 0.26 (15 日後)	上 0.43 下 0.22 (29 日後)	0.09 (29 日後)	5
			施設：乾燥 PBI=15 日 (溶媒)	上 1.05	上 0.48 下 0.26	上 0.58 下 0.23 (15 日後)	上 0.46 下 0.30 (29 日後)	0.08 (29 日後)	
			施設：灌水 PBI=15 日 (水)	上 0.79	上 0.33 下 0.24	上 0.31 下 0.18 (15 日後)	上 0.12 下 0.12 (29 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15 日 (水)	上 0.55	上 0.29 下 0.18	上 0.24 下 0.12 (15 日後)	上 0.22 下 0.12 (29 日後)	—	
香川県農業試 験場	アドマイヤー フロアブル (20%) 4000 倍、 600 L/10 a 1 回	こまつな (楽天)	施設：灌水 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.28	上 0.10 下 0.08	上 0.09 (14 日後)	上 0.09 (34 日後)	0.02 (34 日後)	5
			施設：乾燥 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.42	上 0.14 下 0.10	上 0.08 (14 日後)	上 0.09 (34 日後)	0.02 (34 日後)	
			施設：灌水 PBI=30 日 (水)	上 0.13	上 0.03 下 0.03	上 0.03 (14 日後)	上 0.03 (34 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=30 日 (水)	上 0.18	上 0.06 下 0.04	上 0.03 (14 日後)	上 0.03 (34 日後)	—	

— 土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

表 4-3-4 イミダクロプリド（平成 28 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
栃木県農業 試験場	アドマイヤー水和 剤 (10.0%) 2000 倍、 300 L/10 a 3 回	ほうれんそう (PBI=1 日)	ミラージュ	上 0.20 下 0.16	—	上 0.09 下 0.06 (15 日後)	上 0.08 下 0.04 (51 日後)	<0.01 (51 日後)	15
兵庫県立農林 水産技術総合 センター	アドマイヤー顆粒 水和剤(50%) 5000 倍、 300 L/10 a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	ひとみ	上 0.76 下 0.01	—	0.26 (13 日後)	0.28 (26 日後)	0.08 (26 日後)	5
高知県農業 技術センター	アドマイヤー フロアブル(20%) 2,000 倍、 300 L/10 a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	夏楽天	0.88	上 0.36 下 0.40	0.31 (7 日後) 0.26 (13 日後) 0.24 (19 日後)	0.10 (33 日後)	<0.01 (33 日後)	5

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 4-3-5 イミダクロプリド（平成 27 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品 種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
徳島県	アドマイヤー フロアブル (20.0%) 2000 倍、 300 L/10 a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	いなむら	0.46	上 0.29 下 0.20	0.16	0.04	5
		こまつな (PBI=20 日)		0.56	上 0.14 下 0.07	0.08	0.02	
		こまつな (PBI=36 日)		0.71	上 0.16 下 0.12	0.08	0.01	
		こまつな (PBI=62 日)		0.68	上 0.12 下 0.08	0.06	0.02	

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層（0～10cm）を示す。

表 4-3-6 イミダクロプリド（平成 22 年度）

年 度	調 査 実 施 機 関	試 験 条 件				土 壌 濃 度 (mg/kg)		後 作 物 残 留 濃 度 (mg/kg)	残 留 基 準 値 (mg/kg)		
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作 物	供試作物※1,2	品 種	最 終 処 理 後 濃 度	作 付 け 時 (は種時) 濃 度				
H22	宮城県 農 業 ・ 園 芸 研 究 研 究 所	アドマイヤー フロアブル (20%) 4000 倍、 300 L/10 a	-	コマツナ露地火山灰		0.31	0.42	<0.01	5		
				コマツナ露地沖積土		0.25	0.16	<0.01			
				ホウレンソウ露地火山灰		0.31	0.42	<0.01	15		
				ホウレンソウ露地沖積土		0.25	0.16	<0.01			
	東京都 農 林 総 合 研 究 セ ン タ ー	アドマイヤー 顆粒水和 剤 (50%) 5000 倍、 300 L/10 a	-	コマツナ 露地		0.80	0.62	5	5		
				カブ 露地		0.78	0.65	葉 2.8 根 0.4	根 0.4 葉 3		
	大阪府 環 境 農 林 総 合 研 究 所	アドマイヤー 顆粒水和剤 (50%) 4000 倍、 300 L/10 a	-	コマツナ 施設 (薬剤処理 1 日)		0.6	1.0	0.05	5		
				シュンギク 施設 (薬剤処理 1 日)		0.5	0.5	0.09	3		
	奈良県 農 業 総 合 セ ン タ ー	アドマイヤー 顆粒水和剤 (50%) 10000 倍、 300 L/10 a	-	ホウレンソウ 施設		0.43	0.18	0.01	15		
				シュンギク 施設				0.04	3		
				アドマイヤー フロアブル (20%) 4000 倍、 300 L/10 a	-	ホウレンソウ 施設		0.33	0.21	0.01	15
						シュンギク 施設				0.04	3
	徳島県立 農 林 水 産 総 合 技 術 支 援 セ ン タ ー	アドマイヤー 顆粒水和 剤 (50%) 10000 倍、 300 L/10 a	-	コマツナ露地		0.18	0.12	0.02	5		
				チンゲンサイ露地				<0.02	5		
				ホウレンソウ露地				0.04	15		

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

表 4-3-7 イミダクロプリド（平成 17～22 年度）

年 度	調査実施 機関	試 験 条 件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作 物	供試作物※1, 2	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度		
H22	高知県 農業技術 センター	アドマイヤー 顆粒水和剤 (50%) 5000 倍、 300 L/10 a	-	コマツナ露地		1.0	0.39	0.034	5
				チンゲンサイ露地				0.011	5
				ハウレンソウ露地				0.050	15
H21	青森県 農林総合 研究セン ター	アドマイヤ ーフロアブ ル (20.0%) 4000 倍、 300 L/10 a	ホ ウ レ ン ソ ウ	コマツナ施設 (薬剤処理 11 日)		0.39	0.11	<0.01	5
	東京都 農林総合 研究セン ター	アドマイヤ ー 1 粒剤 (1.0%) 6 kg/10 a	コ マ ツ ナ	キュウリ露地 (薬剤処理 37 日)		1.54	0.72	<0.05	1
H20	東京都 農林総合 研究セン ター	アドマイヤ ー 1 粒剤 (1.0%) 6 kg/10 a	ミ ズ ナ	コマツナ（早期区）		-	0.34	<0.05	5
				コマツナ（遅延区）			0.50	<0.05	
H19	栃木県 農業試験 場	アドマイヤー フロアブル (20%) 4000 倍、 300 L/10 a	ス イ ー ト コ ー ン	ハウレンソウ		-	0.2	<0.01	15
	東京都 農林総合 研究セン ター		コ マ ツ ナ	ダイコン		2.6	0.55	つまみ菜 <0.01 間引き菜 <0.01 根部 <0.005 葉部 <0.01	根 0.4 葉 4
H17	岡山県	粒剤		ハクサイ		-	-	-	0.5
		フロアブル				-	-	-	
	高知県	粒剤		キュウリ		-	-	-	1
		粒剤水和剤				-	-	-	

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

4-4 エトフェンプロックス（平成16年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
長崎県	①水和剤1回 ②乳剤1回 ③乳剤2回	ばれいしょ		③>②=①				葉：③>②=① 2週間で大きく 減衰 塊茎：全てND	0.5

表 4-5-1 クロチアニジン（令和5年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)					後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	水稻栽培前	水稻栽培後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後日数)		
兵庫県 立農林 水産技 術総合 センター	ダントツ 粒剤 (0.5%) 4 kg/10 a	こまつな (なかまち)	露地 PBI=58 日 (溶媒)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 下 0.01	上<0.01 下 0.01 (6日後)	上<0.01 下 0.01 (39日後)	<0.01 (39日後)	10
							上<0.01 下 0.01 (12日後)			
							上<0.01 下<0.01 (34日後)			
高知県 農業技 術セン ター	フルター ボ箱粒剤 (1.5%) 50 g/1 箱 (育苗箱)	こまつな (よかった菜)	露地 PBI=183 日 (溶媒)	上 0.006	上<0.005	上 0.006 下 0.005	上 0.006 下 0.005 (7日後)	上 0.006 下 0.008 (35日後)	<0.01 (21日後)	10
							上<0.005 下 0.006 (14日後)		<0.01 (28日後)	
							上<0.005 下 0.006 (21日後)		<0.01 (35日後)	
							上 0.005 下<0.005 (28日後)			
			露地 PBI=183 日 (水)	上<0.004	上<0.004	上<0.004 下<0.004	上<0.004 下<0.004 (7日後)	上<0.004 下<0.004 (35日後)	-	
							上<0.004 下<0.004 (14日後)			
							上<0.004 下<0.004 (21日後)			
							上<0.004 下<0.004 (28日後)			

土壌濃度は、上：上層(0～10 cm)、下：下層(10～20 cm)を示す。

表 4-5-2 クロチアニジン（平成 31 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土 壌 濃 度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
栃木県農業試験場	ダントツ水溶剤 (16.0%) 2000 倍、 300 L/10 a の 2 倍量 1 回	ほうれんそう (ミラージュ)	施設：灌水 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.31	上 0.10 下 0.14	上 0.07 下 0.06 (15 日後)	上 0.04 下 0.02 (54 日後)	<0.01 (68 日後)	40
			施設：乾燥 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.30	上 0.08 下 0.07	上 0.04 下 0.04 (15 日後)	上 0.04 下 0.04 (54 日後)	<0.01 (68 日後)	
愛知県農業総合試験場	ダントツ水溶剤 (16.0%) 1000 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (夏楽天)	施設：灌水 PBI=28 日 (溶媒)	上 0.46	上 0.19 下 0.10	上 0.16 (19 日後)	上 0.11 下 0.07 (36 日後)	0.02 (64 日後)	10
			露地：乾燥 PBI=28 日 (溶媒)	上 0.43	上 0.26 下 0.14	上 0.14 (19 日後)	上 0.14 下 0.08 (36 日後)	0.02 (64 日後)	
			施設：灌水 PBI=28 日 (水)	上 0.33	上 0.12	上 0.05 (19 日後)	上 0.06 (36 日後)	—	
			露地：乾燥 PBI=28 日 (水)	上 0.29	上 0.17	上 0.05 (19 日後)	上 0.08 (36 日後)	—	
山口県農林総合技術センター	ダントツ水溶剤 (16.0%) 1000 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (夏楽天)	施設：灌水 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.54	上 0.20 下 0.10	上 0.17 (15 日後)	上 0.16 下 0.12 (30 日後)	0.06 (45 日後)	10
			施設：乾燥 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.55	上 0.26 下 0.14	上 0.14 (15 日後)	上 0.18 下 0.12 (30 日後)	0.07 (45 日後)	
			施設：灌水 PBI=15 日 (水)	上 0.46	上 0.16 下 0.08	上 0.10 (15 日後)	上 0.12 下 0.08 (30 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15 日 (水)	上 0.46	上 0.18 下 0.10	上 0.12 (15 日後)	上 0.11 下 0.08 (30 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

4-5-3 クロチアニジン（平成 30 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
宮城県農業・園 芸総合研究所	ダントツ水溶剤 (16.0%) 2000 倍、 600 L/10 a 1 回	こまつな (きよすみ)	施設：灌水 PBI=25 日 (溶媒)	上 0.47	上 0.14 下 0.02	上 0.22 (15 日後)	上 0.20 下 0.03 (28 日後)	0.06 (28 日後)	10
			施設：乾燥 PBI=25 日 (溶媒)	上 0.32	上 0.28 下 <0.01	上 0.13 (15 日後)	上 0.13 下 0.03 (28 日後)	0.06 (28 日後)	
高知県農業技術 センター	ダントツ水溶剤 (16.0%) 1000 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (よかった菜)	施設：灌水 PBI=14 日 (溶媒)	上 1.41	上 0.42	上 0.40 (14 日後)	上 0.34 (27 日後)	0.06 (27 日後)	10
			施設：乾燥 PBI=14 日 (溶媒)	上 1.55	上 0.62	上 0.48 (14 日後)	上 0.38 (27 日後)	0.09 (27 日後)	
			施設：灌水 PBI=14 日 (水)	上 1.16	上 0.31 下 0.34	上 0.34 (14 日後)	上 0.34 (27 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=14 日 (水)	上 1.10	上 0.41 下 0.30	上 0.44 (14 日後)	上 0.19 (27 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

表 4-5-4 クロチアニジン（平成 28 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
愛知県農業総 合試験場	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍、 300 L/10 a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	夏楽天	上 0.35 下 0.01	—	0.27 (15 日後)	0.09 (26 日後) 0.06 (32 日後)	0.12 (26 日後) 0.09 (32 日後)	10
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍、 300 L/10 a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	いなむら	0.42	上 0.34 下 0.30	0.32 (7 日後) 0.24 (13 日後) 0.20 (22 日後)	0.16 (29 日後)	0.03 (29 日後)	10

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

4-5-5 クロチアニジン（平成 27 年度）

年度	調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物（試験区）	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
H27	愛知県	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000 倍希 釈、 300 L/10 a 3 回	こまつな（PBI=4 日）	夏楽天	0.18	上 0.21 下 0.01	0.14	0.10	10
			こまつな（PBI=17 日）		0.20	上 0.10 下 0.04	0.07	0.06	
			こまつな（PBI=31 日）		0.16	上 0.06 下 0.02	0.04	0.03	
			こまつな（PBI=63 日）		0.16	上 0.04 下 0.02	0.04	0.03	
	京都府農林 水産技術セン ター	ダントツ粒剤 (0.50%) 6 kg/10 a 1 回	こまつな（PBI=1 日）	菜々美	0.44	上 0.32 下 0.06	0.26	0.020	10
			こまつな（PBI=14 日）		0.38	上 0.45 下 0.09	0.26	0.014	
			こまつな（PBI=28 日）		0.18	上 0.28 下 0.08	0.20	0.011	
			こまつな（PBI=60 日）		0.24	上 0.24 下 0.16	0.20	0.017	
	兵庫県	ダントツ 粒剤 (0.50%) 6 kg/10 a 1 回	しゅんぎく（PBI=1 日）	株張中葉	未測定	上 0.48 下<0.01	0.04	0.01	10
			しゅんぎく（PBI=14 日）		0.19	上 0.10 下<0.01	0.04	0.01	
			しゅんぎく（PBI=28 日）		0.38	上 0.14 下<0.01	0.10	0.01	
			しゅんぎく（PBI=60 日）		0.40	上 0.31 下 0.01	0.08	0.02	
	香川県農業 試験場	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000 倍希 釈、 300 L/10 a 3 回	こまつな（PBI=1 日）	楽天	未測定	0.83	0.37	0.07	10
			こまつな（PBI=14 日）		0.92	上 0.32 下 0.02	0.23	0.06	
			こまつな（PBI=28 日）		0.84	上 0.21 下 0.01	0.21	0.06	
			こまつな（PBI=60 日）		0.66	上 0.18 下<0.01	0.20	0.04	
	高知県	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000 倍希 釈、 300 L/10 a 3 回	しゅんぎく（PBI=1 日）	きわめ中葉 春菊	0.60	未測定	0.18	0.04	10
			しゅんぎく（PBI=15 日）		0.61	上 0.23 下 0.24	0.10	0.04	
			しゅんぎく（PBI=28 日）		0.54	上 0.12 下 0.19	0.12	0.02	
			しゅんぎく（PBI=60 日）		0.48	上 0.11 下 0.10	0.07	0.02	
	熊本県	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000 倍希 釈、 300 L/10 a 3 回	こまつな（PBI=1 日）	みなみ	0.65	上 0.38 下 0.22	0.28	0.01	10
			こまつな（PBI=15 日）		0.72	上 0.36 下 0.18	0.27	0.01	
			こまつな（PBI=28 日）		0.71	上 0.32 下 0.28	0.18	0.01	
			こまつな（PBI=60 日）		0.61	上 0.20 下 0.10	0.22	0.01	

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層（0～10cm）を示す。

表 4-5-6 クロチアニジン（平成 25 年）

年度	調査実施機関	試 験 条 件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物※1,2	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度※3		
H25	愛知県農業 総合試験場	ダントツ水和 剤（16%） 慣行量区： 2,000 倍、 1/3 量区： 6,000 倍、 1/5 量区： 1,000 倍、 300 L/10 a	なし	コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 26 日）	よかった 菜	0.58	上 0.73 下 0.18	0.20	10
				コマツナ（1/3 量 処理区）（薬剤処 理 26 日）		0.15	上 0.21 下 0.05	0.05	
				コマツナ（1/5 量 処理区）（薬剤処 理 26 日）		0.10	上 0.04 下 0.04	0.03	
				コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 26 日）	菜々 子	0.58	上 0.73 下 0.18	0.19	
				コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 26 日）	菜々 美	0.58	上 0.73 下 0.18	0.20	
	京都府農林 水産技術セン ター	ダントツ粒剤 （0.5%） 慣行量区： 6 kg/10 a、 1/3 量区： 2 kg /10 a、 1/5 量区： 1.2 kg/10 a	なし	コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 27 日）	よかった 菜	0.90	上 0.22 下 0.02	0.08	
				コマツナ（1/3 量 処理区）（薬剤処 理 27 日）		0.68	上 0.22 下 0.02	0.02	
				コマツナ（1/5 量 処理区）（薬剤処 理 27 日）		0.58	上 0.07 下 0.01	0.02	
				コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 27 日）	楽天	0.90	上 0.22 下 0.02	0.06	
				コマツナ（慣行量 処理区）（薬剤処 理 27 日）	菜々 美	0.90	上 0.22 下 0.02	0.06	
	山口県農林 総合技術セン ター	ダントツ水和 剤（16%）慣行 量： 2,000 倍 300 L/10 a	なし	ハウレンソウ（慣 行量処理区）（薬 剤処理 92 日）	サマ ーズ	0.35	上 0.48 下 0.14	0.16	
				ハウレンソウ（1/3 量 処理区） （薬剤処理 92 日）		0.20	上 0.18 下 0.05	0.04	
				ハウレンソウ （1/5 量処理区） （薬剤処理 92 日）		0.11	上 0.10 下 0.02	0.03	
				ハウレンソウ（慣 行量処理区）（薬 剤処理 92 日）	ハン ター	0.18	上 0.20 下 0.03	0.12	
				ハウレンソウ（慣 行量処理区）（薬 剤処理 92 日）	クロ ーネ	0.18	上 0.20 下 0.03	0.12	

徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 慣行量区： 6 kg/10 a、 1/3 量区： 2 kg /10 a、 1/5 量区： 1.2 kg/10 a	なし	コマツナ (慣行量 処理区) (薬剤処 理 27 日)	よかつた 菜	0.20	上 0.18 下 0.18	0.03
			コマツナ (1/3 量 処理区) (薬剤処 理 27 日)		0.15	上 0.06 下 0.04	0.01
			コマツナ (1/5 量 処理区) (薬剤処 理 27 日)		0.07	上 0.04 下 0.02	<0.01
			コマツナ (慣行量 処理区) (薬剤処 理 27 日)	みな み	0.20	上 0.18 下 0.18	0.01
			コマツナ (慣行量 処理区) (薬剤処 理 27 日)	いな むら	0.20	上 0.18 下 0.18	0.01

表 4-5-7 クロチアニジン (平成 18~24 年度)

年 度	調査実施 機関	試 験 条 件				土壌濃度 (mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作 物	供試作物※1,2	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度※3		
H24	京都府農林 水産技術セン ター	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000 倍 300 L/10 a	なし	カブ (早期区) (薬剤処理 45 日)	耐病ひかり	-	上 0.92 下 0.21	根 <0.01 葉 0.04	根 0.5 葉 40
				カブ (遅延区) (薬剤処理 125 日)	耐病ひかり	-	上 0.87 下 0.11	根 <0.01 葉 <0.01	
				ニンジン (早期区) (薬剤処理 134 日)	真紅金時	-	上 0.92 下 0.21	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.2 葉 2
				ニンジン (遅延区) (薬剤処理 190 日)	真紅金時	-	上 0.87 下 0.11	根 <0.01 葉 <0.01	
	兵庫県立農林 水産技術総合 センター	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000 倍 300 L/10 a	なし	カブ (早期区) (薬剤処理 49 日)	CR もちばな	-	上 0.320 下 <0.005	根 <0.01 0.01 葉 0.05	根 0.5 葉 40
				カブ (遅延区) (薬剤処理 103 日)	CR もちばな	-	上 0.154 下 0.007	根 <0.01 葉 0.04	
				ニンジン (早期区) (薬剤処理 117 日)	向陽二号	-	上 0.192 下 <0.005 0.005	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.2 葉 2
				ニンジン (遅延区) (薬剤処理 175 日)	向陽二号	-	上 0.14 下 0.005 0.007	根 <0.01 葉 <0.01	
	徳島県立農林 水産総合技術 支援センター 農業研究所	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000 倍 300 L/10 a	なし	カブ (シルト質壇壤土) (早期区) (薬剤処理 46 日)	CR もちばな	-	上 0.17 下 0.12	根 0.02 葉 0.07	根 0.5 葉 40
				カブ (シルト質壇壤土) (遅延区) (薬剤処理 96 日)	CR もちばな	-	上 0.05 下 0.04	根 <0.02 葉 <0.02	
				カブ (砂土) (早期区) (薬剤処理 46 日)	CR もちばな	-	上 0.25 下 0.14	根葉 0.04 0.12	
				カブ (砂土) (遅延区) (薬剤処理 74 日)	CR もちばな	-	上 0.06 下 0.06	根葉 0.02 0.06	
H22	高知県農業技 術センター	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000 倍×3 回 300 L/10 a	なし	コマツナ 露地	夏楽天	0.76	0.28	0.049	10
				チンゲンサイ 露地	長陽			0.017	10
				ホウレンソウ 露地	ニューアン ナ R4			0.064	40

	徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍 300 L/10 a	なし	コマツナ 露地	はっけい	0.52	0.21	0.06	10
				チンゲンサイ 露地	青冴			0.04	10
				ハウレンソウ 露地	ビジョン			0.15	40
H21	高知県農業技術センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 2,22 kg/10 a ダントツ水和剤 (20%) 2000 倍×3 回 300 L/10 a	キュウリ	コマツナ 施設	夏楽天	1.2	0.59	0.051	10
H19	香川県農業試験場	ダントツ粒剤 (0.5%) 6 kg/10 a	ネギ	ハウレンソウ	強力オーライ	0.8	0.08	0.01	40
	奈良県農業総合センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 6 kg/10 a	ネギ	コマツナ	楽天	0.56	0.07	<0.01	10
				ミズナ	シャキサラ水菜			<0.01	10
				シュンギク	株張り中葉新菊			<0.01	10
H18	奈良県農業総合センター	クロチアニジン粒剤 6 kg/10 a	ネギ	シュンギク	株張り中葉新菊		0.38	0.21	10

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

表 4-6-1 クロラントラニリプロール（令和5年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)					後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)	
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	水稻栽培前	水稻栽培後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後日 数)			
栃木県 農業試験場	フェルテラ チェス 箱粒剤 (0.75%) 50 g/1 箱 (育苗箱)	ほうれんそう (ミラージュ)	露地 PBI=154 日 (溶媒)	上 <0.01	上 <0.01 下 <0.01	上 0.01 下 0.01	上 <0.01 下 <0.01 8 日後)	上 <0.01 下 <0.01 (72 日後)	<0.01 (72 日後)	20	
							上 <0.01 下 <0.01 14 日後)				
							上 <0.01 下 <0.01 44 日後)				
高知県 農業技術センター	フルター ボ箱粒剤 (0.75%) 50 g/1 箱 (育苗箱)	こまつな (よかった菜)	露地 PBI=183 日 (溶媒)	上 0.012	上 0.038	上 0.020 下 0.022	上 0.018 下 0.022 (7 日後)	上 0.016 下 0.020 (35 日後)	<0.01 (21 日後)	20	
							上 0.020 下 0.022 (14 日後)		<0.01 (28 日後)		
							上 0.019 下 0.022 (21 日後)		<0.01 (35 日後)		
							上 0.020 下 0.018 (28 日後)		<0.01 (35 日後)		
			露地 PBI=183 日 (水)	上 0.006	上 0.020	上 0.010 下 0.010	上<0.004 下<0.004 (7 日後)	上<0.004 下<0.004 (35 日後)	-		
							上<0.004 下<0.004 (14 日後)				
							上<0.004 下<0.004 (21 日後)				
							上<0.004 下<0.004 (28 日後)				

土壌濃度は、上：上層(0～10 cm)、下：下層(10～20 cm)を示す。

表 4-6-2 クロラントラニリプロール（平成31年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
栃木県農業試験場	ブレバソフロア ブル 5 (5.0%) 1000 倍、 300 L/10 a 1 回	ほうれんそう (ミラージュ)	施設：灌水 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.22	上 0.09 下 0.06	上 0.06 下 0.05 (15 日後)	上 0.04 下 0.04 (54 日後)	<0.01 (68 日後)	20
			施設：乾燥 PBI=14 日 (溶媒)	上 0.20	上 0.08 下 0.06	上 0.06 下 0.04 (15 日後)	上 0.04 下 0.03 (54 日後)	<0.01 (68 日後)	

土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

表 4-6-3 クロラントラニリプロール（平成 30 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
長野県農業試験場	ブレバソンフロアブル 5 (5.0%) 2000 倍、 300 L/10 a 1 回	ほうれんそう (日本ほうれん そう)	施設 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.23	上 0.10 下 0.21	上 0.06 (15 日後)	上 0.05 下 0.06 (37 日後)	<0.01 (37 日後)	20
			露地 PBI=30 日 (溶媒)	上 0.20	上 0.10 下 0.04	上 0.09 (15 日後)	上 0.05 下 0.06 (37 日後)	<0.01 (37 日後)	
愛知県農業総合試験場	ブレバソンフロアブル 5 (5.0%) 2000 倍、 300 L/10 a の 2 倍量 1 回	こまつな (夏楽天)	施設 PBI=27 日 (溶媒)	上 0.12	上 0.10 下 0.07	上 0.09 (19 日後)	上 0.09 下 0.10 (33 日後)	<0.01 (33 日後)	20
			露地 PBI=27 日 (溶媒)	上 0.12	上 0.07 下 0.03	上 0.08 (19 日後)	上 0.07 下 0.06 (33 日後)	<0.01 (33 日後)	
			施設 PBI=27 日 (水)	上 0.06	上 0.04	上 0.02 (19 日後)	上 0.02 (33 日後)	—	
大阪府立環境農林水産総合研究所	ブレバソンフロアブル 5 (5.0%) 1000 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (わかみ)	施設：灌水 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.19	上 0.12 下 0.02	上 0.03 下<0.01 (14 日後)	上 0.08 下 0.02 (33 日後)	0.02 (33 日後)	20
			施設：乾燥 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.20	上 0.16 下 0.05	上 0.07 下 0.02 (14 日後)	上 0.08 下 0.02 (33 日後)	0.02 (33 日後)	
			施設：灌水 PBI=15 日 (水)	上 0.06	上 0.03 下<0.01	上<0.01 下<0.01 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (33 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15 日 (水)	上 0.07	上 0.04 下 0.01	上 0.02 下<0.01 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (33 日後)	—	
高知県農業技術センター	ブレバソンフロアブル 5 (5.0%) 500 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (よかった菜)	施設：灌水 PBI=14 日 (溶媒)	上 1.05	上 0.44	上 0.35 (14 日後)	上 0.34 (27 日後)	<0.01 (27 日後)	20
			施設：乾燥 PBI=14 日 (溶媒)	上 1.16	上 0.52	上 0.40 (14 日後)	上 0.40 (27 日後)	<0.01 (27 日後)	
			施設：灌水 PBI=14 日 (水)	上 0.44	上 0.15 下 0.16	上 0.14 (14 日後)	上 0.20 (27 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=14 日 (水)	上 0.38	上 0.18 下 0.11	上 0.16 (14 日後)	上 0.09 (27 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

表 4-6-4 クロラントラニリプロール（平成 29 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PHI (抽出方法)	最終 処理後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
長野県農業試験場	ブレバソフフロ アブル 5 (5.0%) 2000 倍、 300 L/10 a 3 回	ほうれんそう (ノーベル)	PHI=1 日 (溶媒)	上 0.14	上 0.11 下 0.08	上 0.11 (15 日後)	上 0.13 (47 日後)	<0.01 (47 日後)	20
			PHI=21 日 (溶媒)	上 0.08	上 0.06 下 0.08	上 0.06 (15 日後)	上 0.06 (47 日後)	<0.01 (47 日後)	
愛知県農業総合 試験場	ブレバソフフロア ブル 5 (5.0%) 2000 倍、 300 L/10 a 3 回	こまつな (夏楽天)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.21 下 0.01	上 0.20 下<0.01 (16 日後)	上 0.16 (27 日後)	0.01 (27 日後)	20
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上 0.10	—	—	<0.01 (27 日後)	
			PHI=15 日 (溶媒)	上 0.22	上 0.14 下<0.01	上 0.13 下<0.01 (16 日後)	上 0.24 (27 日後)		
			PHI=15 日 (水)	—	上 0.06	—	—		
兵庫県立農林 水産技術総合セ ンター	ブレバソフフロア ブル 5 (5.0%) 1000 倍、 300 L/10 a 3 回	こまつな (ひとみ)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.28 下<0.01	上 0.31 (14 日後)	上 0.10 (27 日後)	0.01 (27 日後)	20
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上 0.16 下<0.01	上 0.16 (14 日後)	上 0.08 下 0.02 (27 日後)	<0.01 (27 日後)	
			PHI=7 日 (溶媒)	上 0.20	上 0.28 下 0.01	上 0.32 (14 日後)	上 0.16 (27 日後)		
			PHI=7 日 (水)	上 0.16	上 0.18 下<0.01	上 0.30 (14 日後)	上 0.13 下 0.01 (27 日後)		
山口県農林総合 技術センター	ブレバソフフロア ブル 5 (5.0%) 1000 倍、 300 L/10 a 3 回	こまつな (夏楽天)	PHI=1 日 (溶媒)	(同右)	上 0.72 下 0.15	上 0.64 (14 日後)	上 0.40 下 0.04 (28 日後)	0.01 (28 日後)	20
			PHI=1 日 (水)	(同右)	上 0.21 下 0.06	上 0.16 (14 日後)	上 0.08 下<0.01 (28 日後)	0.01 (28 日後)	
			PHI=7 日 (溶媒)	上 0.64	上 0.56 下 0.32	上 0.56 (14 日後)	上 0.42 下 0.12 (28 日後)		
			PHI=7 日 (水)	上 0.28	上 0.16 下 0.06	上 0.12 (14 日後)	上 0.10 下 0.03 (28 日後)		

作付け時土壌濃度は、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。

—：測定未実施

表 4-7 シアントラニリプロール

年 度	調査実施 機関	試 験 条 件				土壌濃度 (mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作 物	供試作物	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度		
過去の調査実績なし									

表 4-8-1 ジノテフラン（令和5年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)					後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)	
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	水稻栽培前	水稻栽培後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)			
兵庫県 立農林 水産技 術総合 センター	スタークル 粒剤 (1.0%) 3 kg/10 a	こまつな (なかまち)	露地 PBI=58 日 (溶媒)	上<0.01	上<0.01 下<0.01	上 0.01 下 0.01	上 <0.01 下 <0.01 (6 日後)	上 <0.01 下 <0.01 (39 日後)	<0.01 (39 日後)	10	
							上 <0.01 下 <0.01 (12 日後)				
							上 <0.01 下 <0.01 (34 日後)				
徳島県 立農林 水産総 合技術 支援セ ンター	スタークル 豆つぶ (12.0%) 250 g/10 a	ほうれんそう (プログレス)	露地 PBI=56 日 (溶媒)	上<0.01	上 0.01	上<0.01 下<0.01	上<0.01 (7 日後)	上<0.01 (43 日後)	<0.01 (43 日後)	15	
							上<0.01 (15 日後)				
							上<0.01 (35 日後)				
香川県 農場試 験場	スタークル粒 剤 (1.0%) 3 kg/10 a	ブロッコリー (おはよう)	露地 PBI=40 日 (溶媒)	上<0.01	上 0.02	上 0.01	上 0.01 (6 日後)	上 <0.01 (78 日後)	<0.01 (78 日後)	2	
							上<0.01 (13 日後)				
							上<0.01 (29 日後)				
			露地 PBI=40 日 (水)	上<0.01	上 0.02	上 0.01	上 0.01 (6 日後)	上 <0.01 (78 日後)	<0.01 (78 日後)		
							上<0.01 (13 日後)				
							上<0.01 (29 日後)				
高知県 農業技 術セン ター	①スタークル 液剤 (10.0%) 0.8 L/10 a (ドローン散 布) ②スタークル 豆つぶ (12.0%) 250 g/10 a	こまつな (よかった菜)	露地 PBI=68 日 (溶媒)	上<0.005	上 0.008	上<0.005 下<0.005	上<0.005 下<0.005 (7 日後)	上<0.005 下<0.005 (35 日後)	<0.01 (21 日後)	10	
							上<0.005 下<0.005 (14 日後)		<0.01 (28 日後)		
							上<0.005 下<0.005 (21 日後)		<0.01 (35 日後)		
							上<0.005 下<0.005 (28 日後)		<0.01 (35 日後)		
			露地 PBI=68 日 (水)	上<0.004	上<0.004	上<0.004 下<0.004	上<0.004 下<0.004 (7 日後)	上<0.004 下<0.004 (35 日後)	-		
							上<0.004 下<0.004 (14 日後)				
							上<0.004 下<0.004 (21 日後)				
							上<0.004 下<0.004 (28 日後)				

土壌濃度は、上：上層(0～10 cm)、下：下層(10～20 cm)を示す。

表 4-8-2 ジノテフラン（平成 31 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	スタークル顆粒 水溶剤 (20.0%) 1000 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (よかった菜)	施設 PBI=28 日 (溶媒)	上 0.39 下<0.01	上 0.07 下<0.01	上 0.06 下<0.01 (14 日後)	上 0.06 下<0.01 (48 日後)	0.39 (76 日後)	10
			露地 PBI=28 日 (溶媒)	上 0.32 下<0.01	上 0.04 下 0.02	上 0.02 下 0.03 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (43 日後)	0.08 (71 日後)	
			施設 PBI=28 日 (水)	上 0.46 下 0.01	上 0.07 下<0.01	上 0.16 下<0.01 (14 日後)	上 0.04 下<0.01 (48 日後)	—	
			露地 PBI=28 日 (水)	上 0.36 下<0.01	上 0.06 下 0.04	上 0.04 下 0.08 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (43 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層 (0～10cm)、下：下層 (10～20cm) を示す。

表 4-8-3 ジノテフラン（平成 30 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	処理直後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後 日数)		
大阪府立環境 農林水産総合 研究所	アルバリン顆粒 水溶剤 (20.0%) 2000 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (わかみ)	施設：灌水 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.41	上 0.14 下<0.01	上<0.01 下<0.01 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (33 日後)	0.05 (33 日後)	10
			施設：乾燥 PBI=15 日 (溶媒)	上 0.38	上 0.18 下 0.05	上 0.06 下<0.01 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (33 日後)	0.12 (33 日後)	
			施設：灌水 PBI=15 日 (水)	上 0.22	上 0.05 下<0.01	上<0.01 下<0.01 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (33 日後)	—	
			施設：乾燥 PBI=15 日 (水)	上 0.20	上 0.06 下 0.02	上 0.02 下<0.01 (14 日後)	上<0.01 下<0.01 (33 日後)	—	
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	スタークル顆粒 水溶剤 (20.0%) 1000 倍、 300 L/10 a 1 回	こまつな (よかった菜)	施設 PBI=34 日 (溶媒)	上 0.38 下<0.01	上 0.20 下 0.15	上 0.16 下 0.06 (14 日後)	上 0.18 下 0.02 (34 日後)	0.35 (34 日後)	10
			露地 PBI=34 日 (溶媒)	上 0.38 下<0.01	上 0.15 下 0.07	上 0.07 下 0.04 (14 日後)	上 0.01 下<0.01 (41 日後)	0.03 (41 日後)	
			施設 PBI=34 日 (水)	上 0.45 下<0.01	上 0.19 下 0.16	上 0.19 下 0.07 (14 日後)	上 0.24 下<0.01 (34 日後)	—	
			露地 PBI=34 日 (水)	上 0.45 下<0.01	上 0.15 下 0.07	上 0.07 下 0.04 (14 日後)	上 0.01 下<0.01 (41 日後)	—	

土壌濃度は、上：上層 (0～10cm)、下：下層 (10～20cm) を示す。

表 4-8-4 ジノテフラン（平成 28 年度）

調査実施機関	試 験 条 件			土壌濃度 (mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品 種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
北海道立総合 研究機構	スタークル粒剤 (1%) 12 kg/10 a 1 回	こまつな (PBI=0 日)	よかつた菜	1. 60	—	0. 28 (14 日後)	0. 36 (26 日後)	0. 46 (26 日後)	10
宮城県農業・ 園芸総合研究 所	Dr. オリゼスタークル 箱粒剤 (2. 0%) 28 g/m ² 1 回	こまつな (PBI=1 日)	きよすみ	4. 30	—	2. 32 (14 日後)	1. 66 (29 日後)	0. 14 (29 日後)	10
香川県農業 試験場	アルバリン顆粒水溶 剤 (20. 0%) 2000 倍、 300 L/10 a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	楽天	上 0. 44 下 0. 24	—	0. 17 (14 日後)	0. 34 (24 日後)	0. 26 (24 日後)	10

作付け時土壌濃度は上：上層 (0～10cm)、下：下層 (10～20cm) を示す。上下の記載がない場合は全て上層 (0～10cm) を示す。
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 4-8-5 ジノテフラン（平成 27 年度）

年度	調査 実施 機関	試 験 条 件			土 壌 濃 度 (mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品 種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
H27	北海道立 総合研究 機構	スタークル顆粒 水溶剤 (20.0%) 240 倍 3 L/m ² 1 回	こまつな (PBI=0 日)	よかつた菜	未測定	—※	—※	—※	10
			こまつな (PBI=15 日)		—※	—※	—※	—※	
			こまつな (PBI=27 日)		—※	—※	—※	—※	
			こまつな (PBI=61 日)		—※	—※	—※	—※	
	宮城県	アルバリン顆粒水 溶剤 (20.0%) 2,000 倍, 300 L/10 a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	きよすみ	未測定	上 0.87 下<0.01	0.63	0.03	10
			こまつな (PBI=14 日)		0.95	上 0.87 下<0.01	0.71	0.01	
			こまつな (PBI=28 日)		0.96	上 0.78 下<0.01	0.74	0.03	
			こまつな (PBI=62 日)		0.88	上 0.76 下<0.01	0.78	0.02	
	愛知県	アルバリン顆粒水 溶剤 (20.0%) 2,000 倍, 300 L/10 a 3 回	こまつな (PBI=4 日)	夏楽天	0.24	上 0.14 下 0.04	0.02	0.08	10
			こまつな (PBI=17 日)		0.20	上 0.02 下 0.04	<0.01	0.02	
			こまつな (PBI=31 日)		0.20	上 0.01 下 0.02	<0.01	0.02	
			こまつな (PBI=63 日)		0.18	上<0.01 下<0.01	<0.01	0.01	
	京都府 農林水産 技術セン ター	スタークル粒剤 (1.0%) 6 kg/10 a 1 回	こまつな (PBI=1 日)	菜々美	0.38	上 0.37 下<0.01	0.08	0.11	10
			こまつな (PBI=14 日)		0.74	上 0.40 下 0.01	0.06	0.06	
			こまつな (PBI=28 日)		0.70	上 0.48 下<0.01	0.10	0.05	
			こまつな (PBI=60 日)		0.80	上 0.40 下 0.04	0.05	0.07	
	山口県 農林総合 技術セン ター	スタークル顆粒水 溶剤 (20.0%) 2000 倍 300 L/10 a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	夏楽天	未測定	上 0.52 下 0.04	0.31	0.58	10
			こまつな (PBI=14 日)		0.64	上 0.42 下 0.06	0.26	0.62	
			こまつな (PBI=28 日)		0.52	上 0.26 下 0.09	0.22	0.58	
			こまつな (PBI=60 日)		0.28	上 0.25 下 0.14	0.16	0.32	

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層（0～10cm）を示す。

※良好な回収率が得られなかった等の理由から信頼性のある分析値が得られなかった。

表 4-8-6 ジノテフラン（平成 25 年度）

年 度	調査実施 機関	試 験 条 件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作 物	供試作物※1, 2	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度※3, 4		
H25	北海道立 総合研究 機構中央 農業試験場	スタークル 粒剤 (1.0%) 慣行量区： 6 kg /10 a 1/3 量区： 2 kg /10 a 1/5 量区： 1.2 kg /10 a	なし	コマツナ（慣行量処理 区）（薬剤処理 30 日）	よかった菜	0.48	0.33	0.38	10
				コマツナ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 30 日）		0.12	0.20	0.09	
				コマツナ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 30 日）		0.04	0.08	0.04	
				コマツナ（慣行量処理 区）（薬剤処理 30 日）	CR 緑郷 EX	0.48	0.33	0.28	
				コマツナ（慣行量処理 区）（薬剤処理 30 日）	浜ちゃん	0.48	0.33	0.28	
	宮城県農業 園芸総合研 究所	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 慣行量区： 2,000 倍、 300 L/10 a	なし	ハウレンソウ（慣行量 処理区）（薬剤処理 41 日）	サマーズ	1.56	上 1.52 下 0.10	0.27	15
				ハウレンソウ（1/3 量 処理区）（薬剤処理 41 日）		0.81	上 0.83 下 0.10	0.25	
				ハウレンソウ（1/5 量 処理区）（薬剤処理 41 日）		0.48	上 0.48 下 0.12	0.23	
				ハウレンソウ（慣行量 処理区）（薬剤処理 41 日）	クロノス	-	-	0.35	
				ハウレンソウ（慣行量 処理区）（薬剤処理 41 日）	スーパー アリーナ	-	-	0.23	
	愛知県農業 総合試験場	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 慣行量区： 2,000 倍、 1/3 量区： 6,000 倍、 1/5 量区： 10,000 倍、 300 L/10 a	なし	コマツナ（慣行量処理 区）（薬剤処理 26 日）	よかった菜	0.48	上 0.53 下 0.15	0.06	10
				コマツナ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 26 日）		0.12	上 0.16 下 0.04	0.04	
				コマツナ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 26 日）		0.06	上 0.04 下 0.04	0.02	
				コマツナ（慣行量処理 区）（薬剤処理 26 日）	菜々子	0.48	上 0.53 下 0.15	0.06	
				コマツナ（慣行量処理 区）（薬剤処理 26 日）	菜々美	0.48	上 0.53 下 0.15	0.05	
	京都府農林 水産技術セ ンター	アルバリン粒 剤 (1.0%) 慣行量区： 6 kg/10 a 1/3 量区： 2 kg /10 a 1/5 量区： 1.2 kg/10 a	なし	コマツナ（慣行量処理 区）（薬剤処理 27 日）	よかった菜	1.18	上 0.46 下 0.03	0.22	
				コマツナ（1/3 量処 理区）（薬剤処理 27 日）		0.54	上 0.20 下 0.05	0.04	
				コマツナ（1/5 量処 理区）（薬剤処理 27 日）		0.22	上 0.06 下 0.02	0.04	
				コマツナ（慣行量処理 区）（薬剤処理 27 日）	楽天	1.18	上 0.46 下 0.03	0.18	

				コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 27 日）	菜々美	1.18	上 0.46 下 0.03	0.27	
H25	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	アルバリン粒剤（1.0%） 慣行量区：6 kg/10 a 1/3 量区：2 kg /10 a 1/5 量区：1.2 kg/10 a	なし	コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 35 日）		0.878	上 0.294 下 0.054	0.120	10
				コマツナ（1/3 量処理区）（薬剤処理 35 日）	よかった菜	0.489	上 0.186 下 0.056	0.064	
				コマツナ（1/5 量処理区）（薬剤処理 35 日）		0.324	上 0.130 下 0.052	0.068	
				コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 35 日）	ひとみ	0.878	上 0.294 下 0.054	0.170	
				コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 35 日）	楽天	0.878	上 0.294 下 0.054	0.125	
	兵庫県農林水産技術総合センター	アルバリン粒剤（1.0%） 慣行量区：6 kg/10 a 1/3 量区：2 kg /10 a 1/5 量区：1.2 kg/10 a	なし	ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理 31 日）		0.53	上下 0.44 <0.01	0.03	15
				ハウレンソウ（1/3 量処理区）（薬剤処理 31 日）	サマーズ	0.18	上下 0.12 <0.01	<0.01	
				ハウレンソウ（1/5 量処理区）（薬剤処理 31 日）		0.12	上下 0.06 <0.01	<0.01	
				ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理 30 日）	ミラージュ	0.52	上下 0.37 <0.01	0.03	
				ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理 34 日）	サマースカイ R7	0.56	上下 0.44 <0.01	0.02	
	徳島県立農林水産総合技術支援センター	スタークル粒剤（1.0%）慣行量：6 kg/10 a 1/3 量区：2 kg /10 a 1/5 量区：1.2 kg/10 a	なし	コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 27 日）		1.45	上下 0.41 0.37	0.04	10
				コマツナ（1/3 量処理区）（薬剤処理 27 日）	よかった菜	0.13	上下 0.10 0.06	0.02	
				コマツナ（1/5 量処理区）（薬剤処理 27 日）		0.10	上下 0.05 0.05	0.01	
				コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 27 日）	みなみ	1.45	上下 0.41 0.37	0.09	
				コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 27 日）	いなむら	1.45	上下 0.41 0.37	0.14	
	高知県農業技術センター	スタークル顆粒水和剤（20%） 2,000 倍 300 L/10 a	なし	コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 32 日）		0.32	上下 0.12 0.14	0.03	10
				コマツナ（1/3 量処理区）（薬剤処理 32 日）	よかった菜	0.11	上下 0.07 0.06	0.02	
				コマツナ（1/5 量処理区）（薬剤処理 32 日）		0.08	上下 0.04 0.04	0.01	
				コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 32 日）	極楽天	0.32	上下 0.12 0.14	0.02	
				コマツナ（慣行量処理区）（薬剤処理 32 日）	夏楽天	0.32	上下 0.12 0.14	0.02	

4-8-7 ジノテフラン（平成 24 年度）

年 度	調査実施 機関	試 験 条 件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作 物	供試作物※1, 2	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度※3, 4		
H24	愛知県農業 総合試験場	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 2000 倍 300 L/10 a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 43 日）	耐病ひかり	－	0.62	根 0.04 葉 0.20	根 0.5 葉 5
				カブ（遅延区） （薬剤処理 160 日）	耐病ひかり		0.08	根 <0.01 葉 0.02	
				ハツカダイコン（早 期区）（薬剤処理 29 日）	コメット		0.28	根 0.10 葉 0.54	根 0.5 葉 10
				ハツカダイコン（遅 延区）（薬剤処理 119 日）	コメット		0.04	根 0.02 葉 0.20	
		アルバリン 粒剤 (1%) 6 kg/10 a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 50 日）	耐病ひかり		0.51	根 0.02 葉 0.14	根 0.5 葉 5
				カブ（遅延区） （薬剤処理 167 日）	耐病ひかり		0.04	根 0.01 葉 0.03	
				ハツカダイコン（早 期区）（薬剤処理 36 日）	コメット		0.48	根 0.10 葉 0.88	根 0.5 葉 10
				ハツカダイコン（遅 延区）（薬剤処理 126 日）	コメット		0.09	根 0.02 葉 0.30	
	京都府農林 水産技術セ ンター	スタークル顆 粒水溶剤 (20%) 2000 倍 300 L/10 a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 45 日）	耐病ひかり		上 0.92 下 0.50	根 <0.01 葉 0.04	根 0.5 葉 5
				カブ（遅延区） （薬剤処理 125 日）	耐病ひかり		上 0.88 下 0.21	根 <0.01 葉 0.02	
				ニンジン（早期区） （薬剤処理 134 日）	真紅金時		上 0.92 下 0.50	根 <0.01 葉 0.01	根 1 葉 5
				ニンジン（遅延区） （薬剤処理 190 日）	真紅金時		上 0.88 下 0.21	根 <0.01 葉 <0.01	
	山口県農林 総合技術セ ンター	スタークル 水溶剤 (20%) 2000 倍 300 L/10 a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 52 日）	耐病ひかり		上 0.13 下 0.16	根 <0.01 (0.008) 葉 0.04	根 0.5 葉 5
				カブ（遅延区） （薬剤処理 92 日）	耐病ひかり		上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01 (0.007)	
				ニンジン（早期区） （薬剤処理 120 日）	向陽二号		上 0.13 下 0.16	根 <0.01 (0.005) 葉 0.03	根 1 葉 5
				ニンジン（遅延区） （薬剤処理 181 日）	向陽二号		上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.008 (0.004)	
	香川県農業 試験場	アルバリン顆 粒水溶剤 (20%) 2000 倍 300 L/10 a	なし	カブ（早期区） （薬剤処理 58 日）	たかね		0.14	根 <0.01 葉 0.02	根 0.5 葉 5
				カブ（遅延区） （薬剤処理 99 日）	たかね		<0.01	根 <0.01 葉 <0.01	
				ハツカダイコン（早 期区）（薬剤処理 47 日）	コメット		0.14	根 0.01 葉 0.05	根 0.5 葉 10
				ハツカダイコン（遅 延区）（薬剤処理 89 日）	コメット		<0.01	根 <0.01 葉 0.01	

4-8-8 ジノテフラン（平成 23 年度）

年 度	調 査 実 施 機 関	試 験 条 件				土 壌 濃 度 (mg/kg)		後 作 物 残 留 濃 度 (mg/kg) ※4	残 留 基 準 値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作 物	供試作物※1,2	品 種	最 終 処 理 後 濃 度	作 付 け 時 (は 種 時) 濃 度 ※3,4		
H23	高知県 農業技術セ ンター	スタークル 粒剤（20%） 2,000 倍 300 L/10 a	なし	カブ（葉）（早期区） （薬剤処理 56 日）	スワン	0.82	上 0.21 下 0.26	0.02	根 0.5 葉 5
				カブ（葉）（遅延区） （薬剤処理 92 日）	スワン		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.008)	
				カブ（根）（早期区） （薬剤処理 56 日）	スワン		上 0.21 下 0.26	<0.01 (0.006)	
				カブ（根）（遅延区） （薬剤処理 92 日）	スワン		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.001)	
				ニンジン（葉）（早期区） （薬剤処理 85 日）	向陽 二号		上 0.21 下 0.26	0.02	根 1 葉 5
				ニンジン（遅延区）（薬剤処理 125 日）	向陽 二号		上 0.03 下 0.06	0.01	
				ニンジン（根）（早期区） （薬剤処理 85 日）	向陽 二号		上 0.21 下 0.26	<0.01 (0.003)	
				ニンジン（根）（遅延区） （薬剤処理 125 日）	向陽 二号		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.003)	
				コマツナ（早期区） （薬剤処理 41 日）	夏楽天		上 0.21 下 0.26	0.03	10
				コマツナ（遅延区） （薬剤処理 74 日）	夏楽天		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.006)	
		スタークル 粒剤 （1%） 6 kg/10 a	なし	カブ（葉）（早期区） （薬剤処理 56 日）	スワン	1.2	上 0.25 下 0.28	0.05	根 0.5 葉 5
				カブ（葉）（遅延区） （薬剤処理 92 日）	スワン		上 0.06 下 0.14	0.01	
				カブ（根）（早期区） （薬剤処理 56 日）	スワン		上 0.25 下 0.28	0.01	
				カブ（根）（遅延区） （薬剤処理 92 日）	スワン		上 0.06 下 0.14	<0.01 (0.005)	
				ニンジン（葉）（早期区） （薬剤処理 85 日）	向陽 二号		上 0.25 下 0.28	0.03	根 1 葉 5
				ニンジン（遅延区）（薬剤処理 125 日）	向陽 二号		上 0.06 下 0.14	0.02	
				ニンジン（根）（早期区） （薬剤処理 85 日）	向陽 二号		上 0.25 下 0.28	<0.01 (0.006)	
				ニンジン（根）（遅延区） （薬剤処理 125 日）	向陽 二号		上 0.06 下 0.14	<0.01 (0.004)	
				コマツナ（早期区） （薬剤処理 41 日）	夏楽天		上 0.25 下 0.28	0.06	10
				コマツナ（遅延区） （薬剤処理 74 日）	夏楽天		上 0.06 下 0.14	<0.01 (0.007)	
	香川県農業 試験場	アルバリン 顆粒水和剤 （20%） 2,000 倍 300 L/10 a	なし	コマツナ（早期区） （薬剤処理 32 日）	楽天	0.78	0.16	0.18	10
				コマツナ（遅延区） （薬剤処理 92 日）	楽天		<0.01 (0.003)	0.02	
				チンゲンサイ（早期区） （薬剤処理 37 日）	青帝		0.16	0.12	10
				チンゲンサイ（遅延区） （薬剤処理 98 日）	青帝		<0.01 (0.003)	0.01	
				ハウレンソウ（早期区） （薬剤処理 42 日）	おかめ		0.16	0.08	15
				ハウレンソウ（遅延区） （薬剤処理 108 日）	おかめ		<0.01 (0.003)	<0.01 (0.004)	

表 4-8-9 ジノテフラン（平成 23 年度）

年 度	調査実施 機関	試 験 条 件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作 物	供試作物※1,2	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度※3,4		
H23	大阪府環境 農林水産総 合研究所	アルバリン 粒剤 (1%) 6 kg/10 a	なし	コマツナ（早期区） （薬剤処理 42 日）	ひとみ	-	0.51	0.14	10
				コマツナ（遅延区） し（薬剤処理 89 日）	ひとみ	-	<0.01	<0.05	
				シロナ（早期区） （薬剤処理 42 日）	しらさぎ菜	-	0.51	<0.05	10
				シロナ（遅延区） （薬剤処理 89 日）	しらさぎ菜	-	<0.01	<0.05	
				シュンギク（早期区） （薬剤処理 51 日）	菊次郎	-	0.51	0.11	20
				シュンギク（遅延区） （薬剤処理 105 日）	菊次郎	-	<0.01	<0.05	
	京都府農林 水産技術 センター	スタークル 粒剤 (1%) 6 kg/10 a	なし	小カブ（根）（早期区） （薬剤処理 56 日）	耐病ひかり	1.08	上 0.59 下 0.09	<0.01 (0.008)	根 0.5 葉 5
				小カブ（根）（遅延区） （薬剤処理 133 日）	耐病ひかり		上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	<0.01 (0.007)	
				小カブ（葉）（早期区） （薬剤処理 56 日）	耐病ひかり		上 0.59 下 0.09	0.05	
				小カブ（葉）（遅延区） （薬剤処理 133 日）	耐病ひかり		上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	0.02	
				ニンジン（早期区） （薬剤処理 125 日）	真紅金時		上 0.59 下 0.09	0.01, <0.01	根 1 葉 5
				ニンジン（遅延区） （薬剤処理 213 日）	真紅金時		上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	<0.01	
	岐阜県 農業技術 センター	スタークル 粒剤 (1%) 6 kg/10 a	なし	ハウレンソウ（早期 区）（薬剤処理 49 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.12	15
				ハウレンソウ（遅延 し区）（薬剤処理 78 日）		-	上 0.04 下 0.04	0.03	
				カブ（葉）（早期区） （薬剤処理 63 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.06	根 0.5 葉 5
				カブ（葉）（遅延区） （薬剤処理 93 日）		-	上 0.04 下 0.04	0.02	
				カブ（根）（早期区） （薬剤処理 63 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.01, <0.01	
				カブ（根）（遅延区） （薬剤処理 93 日）		-	上 0.04 下 0.04	<0.01	
				ダイコン（葉）（早期 区）（薬剤処理 77 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.03	根 0.5 葉 10
				ダイコン（葉）（遅延 区）（薬剤処理 105 日）		-	上 0.04 下 0.04	0.02	
				ダイコン（根）（早期 区）（薬剤処理 77 日）		-	上 0.08 下 0.07	0.01	
				ダイコン（根）（遅延 区）（薬剤処理 105 日）		-	上 0.04 下 0.04	<0.01	

表 4-8-10 ジノテフラン（平成 20～23 年度）

年 度	調査実施 機関	試 験 条 件				土壌濃度 (mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	前 作 物	供試作物※1, 2	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度※3, 4		
H23	宮城県 農業・園芸 総合研究所	スタークル粒剤 (1%) 6 kg/10 a	なし	コマツナ（早期区） （薬剤処理 42 日）	なかまち	0.31	0.24	<0.02	10
				コマツナ（遅延区） （薬剤処理 62 日）	なかまち		0.27	<0.02	
				ミズナ（早期区） （薬剤処理 43 日）	京みぞれ		0.24	0.03	10
				ミズナ（遅延区） （薬剤処理 78 日）	京みぞれ		0.27	0.03	
				ハウレンソウ（早期 区）（薬剤処理 52 日）	スーパー アリーナ		0.24	<0.02	15
				ハウレンソウ（遅延 区）（薬剤処理 78 日）	スーパー アリーナ		0.27	<0.02	
H22	熊本県農業 研究センタ ー	スタークル顆粒 水溶剤（20%） 2000 倍、 300 L/10 a	なし	ハウレンソウ 露地	アトラス	0.90	0.50	0.04	15
				コマツナ露地	楽天	0.90	0.29	0.05	10
				非結球レタス露地	晩抽レッド ファイアー	1.09	0.49	0.07	10
	山口県 農林総合 技術センタ ー	アルバリン顆粒 水溶剤（20%） 2000 倍、 300 L/10 a	なし	コマツナ	夏楽天	0.37	0.74	0.52	10
				リーフレタス	レッド ファイヤーW	0.48	0.68	0.39	25
H21	日本植物 防疫協会	スタークル粒剤 （1.0%） 9 kg/10 a	裸 地	コマツナ 露地 （薬剤処理 30 日）	楽天	4.99	0.04	0.08	10
				コマツナ 露地 （薬剤処理 58 日）	楽天	4.99	<0.01	0.06	
				コマツナ 露地 （薬剤処理 90 日）	楽天	4.99	<0.01	0.04	
				カブ 露地 （薬剤処理 30 日）	スワン	4.99	0.02	葉 0.28 根 0.06	葉 5 根 0.5
				カブ 露地 （薬剤処理 58 日）	スワン	4.99	<0.01	葉 0.12 根 0.03	
				カブ 露地 （薬剤処理 90 日）	スワン	4.99	<0.01	葉 0.04 根 0.02	
	熊本県農業 研究センタ ー	スタークル顆粒 水溶剤（20%） 400 倍、 0.4 L /m ² +2000 倍、 300 L/10 a	コ ネ ギ	ハウレンソウ施設 （薬剤処理 10 日）	アトラス	4.33	1.22	0.18	15
				ハウレンソウ施設 （薬剤処理 17 日）	アトラス	4.33	1.33	0.2	
H20	日本植物防 疫協会	スタークル粒剤 （1.0%） 6 kg/10 a	裸 地	ハウレンソウ （薬剤処理 14 日）	オーライ	1.96	0.1	0.04	15
				ハウレンソウ （薬剤処理 28 日）	オーライ	1.96	0.05	0.02	
				ハウレンソウ （薬剤処理 42 日）	オーライ	1.96	0.04	0.01	
				ハウレンソウ （薬剤処理 58 日）	オーライ	1.96	0.02	<0.01	
	徳島県立農 林水産総合 技術支援セ ンター	スタークル粒剤 （1.0%） 6 kg/10 a	コ マ ツ ナ	ハウレンソウ	タキソード 7	0.44	0.01	<0.02	15

表 4-8-11 ジノテフラン（平成 19 年度）

年 度	調査実施 機関	試 験 条 件				土壌濃度 (mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	前 作 物	供試作物※1, 2	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度※3, 4		
H19	日本植物 防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 1 g/株	ピー マン	ハウレンソウ (耕起区)	マグワイヤー	0.46	0.67	0.02	15
				ハウレンソウ (不耕起)	マグワイヤー	0.34	0.75	0.04	
	兵庫県 農林水産 技術総合 センター	スタークル粒剤 (1.0%) 6 kg/10 a	コマ ツナ	ネギ	小夏	0.346	0.021	<0.01	15

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

※4：土壌濃度及び残留濃度の（ ）内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 4-9 シメコナゾール

年度	調査実施 機関	試 験 条 件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作 物	供試作物	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度		
過年度の調査実績なし									

表 4-10 チフルザミド（令和5年度）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)					後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	水稻栽培前	水稻栽培後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後日 数)		
徳島県 立農林 水産総 合技術 支援セ ンター	フルサポート 箱粒剤 (3.0%) 50 g/1 箱 (育苗箱)	ほうれんそう (プログレス)	露地 PBI=147 日 (溶媒)	上<0.01	上 0.03	上 0.04 下 0.03	上 0.04 (7 日後)	上 0.04 (43 日後)	<0.01 (43 日後)	0.01
							上 0.04 (15 日後)			
							上 0.04 (35 日後)			

土壌濃度は、上：上層(0～10 cm)、下：下層(10～20 cm)を示す。

表 4-11 トリシクラゾール(令和5年度)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)					後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (品種)	試験区 PBI (抽出方法)	水稻栽培前	水稻栽培後	作付け時 (播種時)	作付け後 (播種後 日数)	収穫時 (播種後日 数)		
徳島県 立農林 水産総 合技術 支援セ ンター	フルサポート 箱粒剤 (4.0%) 50 g/1 箱 (育苗箱)	ほうれんそう (プログレス)	露地 PBI=147 日 (溶媒)	上<0.01	上 0.06	上 0.05 下 0.04	上 0.05 (7 日後)	上 0.04 (43 日後)	<0.01 (43 日後)	0.01
							上 0.05 (15 日後)			
							上 0.07 (35 日後)			

土壌濃度は、上：上層(0～10 cm)、下：下層(10～20 cm)を示す。